研究に関するお知らせ（2015年1月1日から2025年4月30日までの間に当院の外科に入院され，抗菌薬の投与を受けた方を対象とした研究　名称：NMTT基またはMTDT基を有する抗菌薬の投与が血液凝固能に与える影響の後ろ向き検討）

■研究目的・方法・対象

一部の抗菌薬（感染症を治す薬）は，使うことで「血が固まりにくくなる」ことが知られています．特に，口から食事ができない状態が続いたり，栄養状態が悪くなっている方ではこのような影響が強く出ることがあります．この研究ではどのような人にそのようなリスクが高いのかを明らかにすることで，抗菌薬をより安全に使えるようにすることを目的としています．

■研究期間

承認日～2028年12月31日まで

■研究対象・研究に用いる情報の種類

2015年1月1日から2025年4月30日までの間に当院の外科に入院されていた患者さんの中で，抗菌薬の投与を受けた方を対象とします．その中から抗菌薬を使ったあとに、血が固まりにくくなった方のデータを主な解析対象とします．

調べる予定の情報は以下のようなものです．

入院されたご病気の名前，抗菌薬を使用した期間，血液検査の結果　等

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究では，症例を匿名化してデータを収集致します．使用に際しては，政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し，研究結果の発表に際しても，個人が特定されない形で行います．みなさまに新たにご負担頂くことはございません．当研究への協力を希望されない場合は，研究担当者までお問い合わせ下さい．

■研究責任者：

京都医療センター外科　畑　啓昭

■お問い合わせ先

京都医療センター外科
〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1
電話：075-641-9161

■掲示場所・交付場所

京都医療センター外科ホームページへ掲載